

集団的自衛権行使の容認は戦争できる国づくり NHK討論で井上議員

世論も反対が多数

井上さとし参院議員が16日のNHK「日曜討論」に出演し、安倍首相が目指す憲法解釈変更による集団的自衛権の行使容認について、国会審議を通じて賛成世論が減っていることをあげ、「絶対にや



るべきではない」と反対を表明しました。

番組内でNHKが紹介した今月の世論調査では、解釈変更で集団的自衛権行使を可能にすることに賛成17%、反対33%、どちらともいえないが43%で反対が賛成を2倍近く上回りました。

井上氏は、「集団的自衛権は、米国などが攻撃された時に、日本が攻撃されていなくても武力行使できるようにすることだと、安倍首相も国会で認めている」と指摘。

参院予算委員会公聴会で公述人が、集団的自衛権を行使できるようになれば、かつてのソ連のアフガニスタン侵略や米国のベトナム戦争のような戦争に参加できることになる」と述べたことを紹介し、「まさに戦争する国になるということだ。憲法9条と全く相いれない」と批判しました。

さらに井上氏は、「与党からも慎

重意見が出ていながら、首相が『私が責任者だ』としていることに今の大きな問題がある」と指摘。自民党の古賀誠、野中広務両元幹事長や改憲派学者からも批判があがっていることに加え、『立憲主義を守れ』の一点で、国会内外で大いに声を広げていく」と強調しました。

賃上げ、消費税増税中止を

また、番組の中で井上氏は、春闘で大企業を中心にベースアップなど賃上げ回答があったことについて、「消費税増税で事実上、国民全員が賃下げになっている」と指摘。ベースアップが一部にとどまり消費税増税による物価上昇に追いつかない一方、派遣労働法改悪によって「賃上げといいつながら賃下げ政策をしている」と安倍政権の経済政策を批判しました。

また井上氏は、消費税増税の中止を求める一方、(1)大企業内部留保の賃上げへの活用、(2)最低賃金引き上げのための中小企業支援、(3)正規労働を増やす雇用ルールづくりを示し、「好循環というならこういう方向でやるべきだ」と求めました。

安倍内閣への批判を共産党へ 藤枝市演説会

佐々木憲昭議員

佐々木憲昭衆院議員は16日、静岡県藤枝市での党演説会で国政報告を行いました。

同市の市議選は4月13日告示さ



佐々木氏は、安倍内閣が集団的自衛権の行使の容認で海外で戦争できる国へ暴走していると批判し、「正面から対決できるのは共産党だけ。侵略戦争に反対した党を押し上げてほしい」と訴えました。両市議は、市民へのアンケートで原発再稼働反対が8割だったことや、待機児童が約150人いることなどをあげ、市民の願いを実現するために全力を挙げると訴えました。



愛知・清須市議選(4月13日告示)で「W加藤で勝とう」と訴える井上議員(中央)、左は同市議選の加藤みつゆり候補、右は同かとう良一候補=16日、愛知県清須市